

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年1月7日(2010.1.7)

【公開番号】特開2005-137385(P2005-137385A)

【公開日】平成17年6月2日(2005.6.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-021

【出願番号】特願2003-354390(P2003-354390)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報を表示する表示装置と、所定の始動条件の成立を検出する検出手段と、その検出手段によって前記始動条件の成立が検出された場合に抽選を行う抽選手段と、その抽選手段による抽選結果に基づいて前記表示装置に表示される前記識別情報の動的表示の態様を選定する選定手段と、その選定手段によって選定された前記動的表示の態様で前記表示装置に前記動的表示を行わせる変動実行手段と、前記抽選手段による所定の抽選結果が導出された場合に第 1 状態から遊技者にとって有利な第 2 状態に変化する変動入賞手段とを備え、前記所定の抽選結果が導出されると、前記動的表示に予め定めた表示結果を現出させると共に前記変動入賞手段によって遊技者に所定の遊技価値を付与する遊技機において、

閉状態とその閉状態より前記始動条件の成立としての始動口への入球がし易い開状態とを切り替える入球状態切替手段と、

その入球状態切替手段の動作を制御する手段であって予め定めた表示結果が現出した後に所定の回数条件が成立するまで実行される動的表示の実行期間中にはその期間の経過後に比べて前記開状態を高比率で生起させる入球制御手段と、

前記所定の抽選結果の導出を所定の確率で判断する第 1 判断手段と、

その第 1 判断手段より高確率で前記所定の抽選結果の導出とする条件に基づいて前記所定の抽選結果の導出を判断する第 2 判断手段と、

前記入球状態切替手段によって前記開状態が前記高比率で生起させられた期間中に実行される動的表示のうち最初から少なくとも 1 回以上の動的表示で構成される高確率期間中の動的表示に対して前記第 2 判断手段により前記高確率で前記所定の抽選結果の導出を判断させ、所定条件の成立に基づいて前記第 2 判断手段から前記第 1 判断手段へと前記所定の抽選結果の導出を判断する手段を切り替えて前記所定の抽選結果の導出確率を低確率にする抽選条件切替手段とを備え、

前記選定手段は、前記入球制御手段によって前記開状態が前記高比率で生起させられた期間中において、前記高確率期間であるか否かに関わらず同一又は類似の態様で前記表示装置にて前記動的表示が行われる動的表示を対象として、前記動的表示の態様を選定する

第 1 選定手段を備えていることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、識別情報を表示する表示装置と、所定の始動条件の成立を検出する検出手段と、その検出手段によって前記始動条件の成立が検出された場合に抽選を行う抽選手段と、その抽選手段による抽選結果に基づいて前記表示装置に表示される前記識別情報の動的表示の態様を選定する選定手段と、その選定手段によって選定された前記動的表示の態様で前記表示装置に前記動的表示を行わせる変動実行手段と、前記抽選手段による所定の抽選結果が導出された場合に第 1 状態から遊技者にとって有利な第 2 状態に変化する変動入賞手段とを備え、前記所定の抽選結果が導出されると、前記動的表示に予め定めた表示結果を現出させると共に前記変動入賞手段によって遊技者に所定の遊技価値を付与するものであり、閉状態とその閉状態より前記始動条件の成立としての始動口への入球がし易い開状態とを切り替える入球状態切替手段と、その入球状態切替手段の動作を制御する手段であって予め定めた表示結果が現出した後に所定の回数条件が成立するまで実行される動的表示の実行期間中にはその期間の経過後に比べて前記開状態を高比率で生起させる入球制御手段と、前記所定の抽選結果の導出を所定の確率で判断する第 1 判断手段と、その第 1 判断手段より高確率で前記所定の抽選結果の導出とする条件に基づいて前記所定の抽選結果の導出を判断する第 2 判断手段と、前記入球状態切替手段によって前記開状態が前記高比率で生起させられた期間中に実行される動的表示のうち最初から少なくとも 1 回以上の動的表示で構成される高確率期間中の動的表示に対して前記第 2 判断手段により前記高確率で前記所定の抽選結果の導出を判断させ、所定条件の成立に基づいて前記第 2 判断手段から前記第 1 判断手段へと前記所定の抽選結果の導出を判断する手段を切り替えて前記所定の抽選結果の導出確率を低確率にする抽選条件切替手段とを備え、前記選定手段は、前記入球制御手段によって前記開状態が前記高比率で生起させられた期間中において、前記高確率期間であるか否かに関わらず同一又は類似の態様で前記表示装置にて前記動的表示が行われる動的表示を対象として、前記動的表示の態様を選定する第 1 選定手段を備えている。